

大いなる飛躍を期待する

公益社団法人 日本包装技術協会

専務理事 古屋 一

日本包装技術協会の古屋でございます。

あらためまして、皆様、本当におめでとうございます。

この第48期包装管理士合格証書授与式が、かくも盛大に開催できますことを心から感謝申し上げます。

本年は、全国で407名の新しい包装管理士が誕生致しました。

本日、合格証書を手にとられました方は、多分、ご自分の名刺に包装管理士と刷り込むことかと思えます。ぜひそうして下さい。

この包装管理士を英語で申しますとPackaging Professionalと言います。以前は、Packaging Consultantと言っておりましたが、数年前に変更し今ではこのPackaging Professionalが定着しています。

Professional、すなわち皆様本日から多くの関係者から認められた包装のプロでございます。これからは、社内ではもちろん、社会的にも国際的にもいろいろな場面でプロとしての目を向けてゆかねばなりません。こうした意味からも、本日は卒業式であると同時に皆様方の大いなる飛躍の第一歩を踏み出す日でもあるかと存じます。

☆

協会は、本年創立50周年を迎えました。皆様は、私共事務局にとりましては、記憶に残る合格者となるでしょう。そして、皆様にとりましては、記念すべき年での第一歩であるかと思えます。

その合格者の方々ですが、東京会場だけでも200名近くいらっしゃいます。今後はぜひ、折に触れ、機会あるたびに、同期としての交流を深めて頂けますれば、事務局としてこの上ない喜びかと存じます。

本日の合格証書授与に際しまして、あらためてお祝い申し上げますと共に、包装管理士としての今後のご活躍を大いに期待申し上げ、挨拶と致します。

本日は本当におめでとうございます。

(第48期包装管理士合格証書授与式—東京会場・挨拶より)

《INDEX》

本部報告	2
2013年包装界・10大ニュース	2
支部だより	4



PACKAGING INFORMATION
包装技術者の連携と協力をめざす

日本包装管理士会 会報
No.116

ipp
news

ipp news
2014年1月25日発行
編集人／荒井拓哉
発行／日本包装管理士会
東京都中央区築地4-1-1
TEL 03-3543-9250

会員の皆様へ 年頭のご挨拶

日本包装管理士会 会長 井上伸也(5期)

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様にはご家族と共に、健康で楽しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2014年の干支は「午」。表わす動物は馬が当てられ、十二支の後半が始まります。馬は古来より人間に身近な存在で躍動感があふれ、午年の人は明るく流行に敏感で開放的と言われています。この1年が明るく開放的な年となることを願っております。

一昨年末の総選挙によるリーダーの交代から始まった2013年は、IPPが選定した2013年包装界10大ニュースにもあるように、日本経済復活に向けて動き始めたと感じさせる1年でした。アベノミクスとまとめられる経済政策や2020年オリンピックの東京開催決定など表面的には明るい話題が続きました。終盤にやや不安な要因も指摘されていますが、そのような懸念を払拭し発展する2014年であることを期待し、そのような動きを支えていきたいと考えております。

このような周辺環境のなか、IPPは1967年2月の設立から2016年には創立50周年を迎えます。50周年を記念する行事開催に向けて、山田副会長・関東支部長を本部長とする準備委員会での検討が本格化しています。記念大会・式典の開催や記念誌の発行、記念行事を盛り上げるためのキャラクターの採用など、本年6月の定時総会には具体的なことを提案し承認していただく予定であります。現段階では、創立50周年記念事業は2016年総会時が中心となる日程で企画されることと、記念キャラクターとネーミングの募集は先行して始められることのご紹介にとどめておきます。会員の皆様の積極的な応募・協力をお願いいたします。会員全員で祝う創立50周年にしようではありませんか。

身近な包装業界に目を向けた時、食の安全安心に関するテーマがあります。アクティブパッケージの採用や賞味期限表示の変更、食品ロス低減への動きなどの活発化が予測されます。特に食品ロス低減の動きは全世界的なトレンドであり包装だけで解決できる問題ではありませんが、寄与する比率は結構高いのではないかと考えています。個包装から輸送包装、流通分野まで会員の皆様が持つ多くのアイデアが実用化されることと思われま。

本年が会員の皆様、ご家族にとって幸多き一年となるよう願っております。ご健勝にお過ごし下さい。



「2014年包装界合同新年会」会場にて IPPのメンバー

2013年

① サービスを拡大するコンビニエンスストアー

コンビニエンスストアー店頭で、挽きたてのコーヒーを提供する本格カウンターコーヒーの販売に大手各社が参入、拡販を見せている。加えて店内調理の拡充等コンビニエンスストアーの業態がますます拡大し続けている。これに伴い、小分け包装、小容量包装、包装のコンパクト化等、コンビニエンスストアーでは若者のみならず高齢者も対象とした専用パッケージが求められている。食品業界全体で見ても、個食用や2人用の食品商品企画が活発化し、市場成長につながっている。従来は大人数で楽しんでいた鍋料理等の料理用調味料において、少人数対応品を企画・販売することにより高齢者夫婦や若年層単身者の市場開拓にもつながっている。

② 新規格の段ボール誕生

全く新しい規格の段ボール『デルタフルート』が誕生した。『デルタフルート』は缶飲料の包装などに使用されるBフルート(厚さ約3mm)と、贈答箱などに用いられるEフルート(厚さ約1.5mm)の中間の厚みを有する段ボールで、Bフルートよりも輸送・保管効率が高く、包装の効率化、合理化に寄与するほか、平面圧縮強度も高いためより美しくシャープな印刷が可能。段ボールの軽量化を通じてCO₂排出量など環境負荷を低減できる。また、Eフルートよりも高強度のため中間箱を兼ねた外装段ボールとして使用できる。主に軽量物や、缶等の中身で荷重を支えられる物の包装材料として活用が進んでいる。

③ 3Dプリンターの普及が本格化

3Dプリンターの性能が上がり、価格がリーズナブルになった事で、企業内に導入してサンプルを社内加工する動きが急拡大している。包装容器のデザイン検証・機能検証などのモックアップとして、実際に手に取ることが出来るため、完成品がイメージしやすく、新製品開発に要する時間やコストを大幅に低減することが可能となった。2012年には数量で推定16倍の87,000台(08年比)、金額で推定1.4倍、1,366億円(08年比)の規模に

なる。13年度の出荷台数は倍増の見通しで今後、100万円以下のパーソナルタイプが普及して、平均価格を押し下げ、2016年には推定510,000台、2,300億円の市場規模が予測される。

④ JISZ0200の改正

包装貨物の試験方法として、国内包装業界で広く使用されているJISZ0200包装貨物-性能試験方法 一般通則が13年ぶりに改正となった。2009年の国際規格ISO4180の改正、発行を機にJISZ0200も一昨年から改正作業が始まり、本年2月に新規格が発行された。ISOの改正以降、JISとISOとの差異が広がっていたが、今回の改正で整合化が図られることとなる。より実際の流通条件に適合した試験内容に改正されたことで、試験精度の向上が期待される。

⑤ 賞味期限「年月表示」に移行する

日本TCGFのサステナビリティプロジェクト委員会は2月25日、清涼飲料の賞味期限を「年月日表示」から「年月表示」に移行すると発表した。流通全体における商品管理を日別から月別にする事で、環境負荷低減や業務効率化を図るのが狙い。同時に、まだ食べられるにもかかわらず捨てられてしまう食品を減らす効果も狙っている。国産水、国産ミネラルウォーターの2L容量のPETボトル製品から、順次切り替える。

一方、新法「食品表示法」では食品衛生法、JAS法、健康増進法の3つの法律の食品表示に関する部分が整理・統合され、加工食品の栄養表示が原則義務化され、違反事業者への罰則も大幅強化される。6月28日公布後、2年以内（2015年6月27日）に施行される。

⑥ 長期保存可能な樹脂カップ詰めコンビーフ

新たに開発されたコンビーフ容器は、プラスチック製の容器でレトルト殺菌ができ、中身の酸化を防ぐ素材により、賞味期限3年と長期保存が可能となっている。フィルム蓋をはがす構造により、缶切りが不要で容易かつ安全に開封することができる。また、使用後の廃棄もしやすく環境に配慮した設計となっている。店頭で他社品と差別化を図ることができるため、既存製品の容器を新型容器に切り替える動きが加速している。また、清酒、ワイン等アルコール飲料容器にハイバリア性を有するDLC加工したPETボトルが高い評価を受け、需要が大幅に伸長している。食品業界では、機能性を向上した新型容器の採用が相次いでいる。

⑦ 日本経済がデフレ脱却へ動き始めた (上場企業の6割が増収増益)

企業業績が、売り上げを伸ばして利益を増やす成長型へ変わり始めた。2013年上期（4～9月）の上場企業の決算は増収率が11%、6割の企業が増収増益になり、3年ぶりの高水準。「アベノミックス」の最初の2本の矢である「金

融緩和」と「財政出動」による円安や好調な内需が追い風。長期デフレからの脱却への動きが企業収益に表れてきた。

一方で、円安による原料価格高騰を製品価格に転嫁できず、収益改善が進まない企業や業界がある。包装関連では、樹脂ペレット、ストレッチフィルム・PPバンドなどの価格が高い傾向が続いている。

⑧ 「エアホールドパウチ」開発

空気の手で自立する口栓付き液体製品用スタンディングパウチ「エアホールドパウチ」が開発された。パウチのサイド部分に空気を縦方向に封入することで自立性を向上、見た目に美しいだけでなく、持ちやすさ・注ぎやすさを実現した。封入した空気が柱の役割を果たすため、パウチ上部が前後に倒れることがなく、店頭で美しい陳列を可能にした。

⑨ 「PACK SHOW 2013」開催される

公益社団法人日本包装技術協会主催の「PACK SHOW 2013」が、東京都立産業貿易センター浜松町館で10月1日（火）～3日（木）に開催された。「暮らしの包装商品展2013」に「包装材料・容器展2013」を同時開催し、消費者と包装材料メーカー・ユーザーが交流できる展示会を意図したという。包装が本来持ち合わせている数々の機能や利便性、様々な包装商品に備わっている最新の技術や工夫などが数多く展示され、1万人以上の来場者には学生、主婦の姿も多く見られた。

⑩ 日本包装技術協会 創立50周年を迎える

日本包装技術協会が創立50周年を迎え、記念式典・祝賀会が、5月29日（水）丸の内・東京會館において盛大に開催された。日本包装技術協会の会員総数も創立当初の300から1,150（含、個人会員177名）へ増加しており、まさに日本経済の発展と歩調を合わせるように発展してきた。50周年記念として発刊された「五十年史」は、戦後日本の包装技術の発展のために関係企業と通商産業省が中心になって協会設立に動いた経緯や、包装管理士講座の開講、包装技術誌の発刊など、今日の礎となった活動が紹介されている。また同時に発刊された「包装白書2013」は、包装技術の変遷、国内包装動向やトレンドに至るまで、包装全貌が一望できる貴重な資料となっている。祝賀会では、渡邊このみちゃんによる「包装の歌」の披露が花を添えた。

「2013年包装界・10大ニュース」の選定にあたっては、多くの会員の皆様からご提案をいただきました。厚くお礼申し上げます。

最終的に選定された10大ニュースの他にも、重要な情報が数多く寄せられましたが、紙面の都合により紹介することができませんことをお詫びします。

北海道支部だより ●●●

北海道支部長 酒井 幸彦 (36期)

IPP会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

北海道の昨年は天候不順に見舞われた年となりました。春先から気温が上がらず、果樹関係が伸び悩み、干ばつ気味で、雨量が少なく秋物に多大な影響を及ぼしました。特に玉葱は玉も小さく例年の2～3割減となり、又ジャガイモも同様に玉が小さいとの事で段ボール数に大きく跳ね返りました。

一方、水産物に目を転じると例年漁シーズンに入ると水温が下がるはずが、今年は一向に下がらず、サンマ不漁となり、本来あまり獲れないサバ、ブリ等の暖海系の魚が多く獲れましたが、北海道内に加工施設が少ないため地元へ還元が少なく、又鮭も昨年並の10万トンを割り込む状況となり、ここ2、3年気候が少しずつ変化していると思われまます。近年、北海道米が美味しいと脚光を浴びていますが、確かに生産者、研究機関の方々の努力による品種改良の結果だとは思いますが、気候の変化も一部影響しているものと思ひます。

いずれにしても北海道経済は1次産業主体とし、それに関わる2次産業で成り立っており、天候状態により経済が大きく左右されます。「アベノミクス」はとても北海道まで及んでいないのが実情です。しかしながら北海道は食料自給率200%の食糧王国とし、また観光にも力を入れ、海外から観光客も戻りつつありますから我々包装に係る者としてはどのような状況に於いても「包む」を

念頭に活動しなければならないと考えます。

最後に会員企業の皆様にとって今年も良い年でありまますようご祈念申し上げます。

【包装懇話会開催】

11月21日、ネストホテル札幌駅前にて包装懇話会を開催致しました。

表題は「紙パルプ由来の新しい包装材料」で、MIPコンサルタント事務所代表の岩崎 誠氏を講師にお迎えして、我が国の紙パルプ産業の現状を説明して頂き、今後のトレンドとして、木材由来の新しい素材（セルロースナノファイバー、キシラン等）が開発され、いろいろな応用が検討されており、特に包装材料への応用について詳しく講義を戴き、参加した30名弱の会員も熱心に耳を傾けていました。



包装懇話会の様子

東北支部だより ●●●

東北支部 副支部長 斎藤 昇 (13期)

48期包装管理士合格証書授与式

48期合格証書授与式・支部包装技術発表会・新包装管理士を囲む会を10月29日13時30分より仙台商工会議所会館で行いました。

今年の受講者13名中合格者12名、前期合格者1名、



第48期生発表

計13名の新包装管理士が誕生しました。

初めに48期合格者によるレポートの発表会が8件行われました。今年は仙台で全日本包装技術研究大会が開催されますので、その予行練習も兼ねて例年より多い8件の発表になりました。



IPP鈴木支部長講評

P5に続く→

P4から続く→

次に、JPI本部より古屋専務理事をお迎えして合格証書授与式を行いました。初めに成績優秀者の大友博文氏に（YKK AP）銅賞が授与されました。

その後生活者包装4名輸送包装8名（欠席1名）に古屋専務理事より合格証書が授与されました。



表彰式



古屋専務理事挨拶

その後、管理士会東北支部の鈴木支部長より合格のお祝いと管理士会の活動報告と入会PRを行いました。

入会は「直ぐでしょう」と言う事で斎藤事務局長が直ちに入会書類（名刺で代行）を預かり入会を確認しました（出席者12名全員入会）。

場所を4階レストランに移動して48期合格者を囲む会を先輩管理士会員も参加して、山岸JPI東北事務局長の乾杯で始まり新旧管理士の親睦を図りました。



第48期新包装管理士を囲む会



第48期新包装管理士を囲む会



全日本包装技術研究大会

11月28日・29日JPI主催全日本包装技術研究大会が仙台サンプラザで7年ぶりに開催されました。

大会1日目AMの式典は藤崎JPI東北支部長の挨拶で始まり、昨年度大会の優秀発表入賞者19名の表彰式があり、その後特別講演「スポーツは心のサプリメント」～ベガルタ仙台の活動を通して～ 講師はベガルタ仙台代表取締役 白幡洋一氏（元リコー執行役員・東北リコー代表取締役）が行われました。

1日目午後、2日目午前・午後で53件の発表が行われました。今年の発表件数53件は、仙台大会の中では最少件数でした（管理士会の各支部の理事役員の方々の参加が少なかった）。

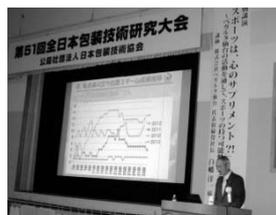
H26年の第52回大会は11/20～21日に札幌コンベンションセンターで開催されます。



藤崎支部長開会挨拶



表彰式（JPI古屋専務理事より授与）



特別講演会



開会式参加の聴講者
右手前席は来賓関係者席

2014年1月予定

1月22日（水）午後4時～

東北包装界新年名刺交換会

（東北支部設立30周年祝う会）

開催場所：仙台江陽グランドホテル

関西支部だより ●●●

関西支部 細田 基則 (13期)

2012年度は関西支部創立40周年の年でしたが、今期も関西支部加盟の皆様情報交換や業務に役立てて頂ける活動を展開しています。非会員の方にも多く参加して頂き、有意義な活動となっています。

◆第4回W会 (女性だけの包装研究会) との合同研究会 ◇6月25日

「乾電池パッケージの商品化事例」

講師：パナソニック(株)オートモーティブ&インダストリアルシステム社 中田小百合氏

「包装業界の歴史とエピソード～伸びる会社の要素、今後の市場展開を探る～」

講師：元日報ビジネス記者 江口欣哉氏



講演風景 (中田講師)



講演風景 (中田講師)



講演風景 (森永講師)



交流会にて

◆ミニセミナーの開催

◇第17回 9月30日

「最新のナイロンフィルム動向」

講師：ユニチカ(株)包装フィルム営業部
田中信広氏

「グラビア印刷機の最新技術動向」

講師：富士機械工業(株)技術部
森永毅巳氏

◇第18回 12月18日

「加飾フィルムの開発」

講師：恵和(株)テクノラボ開発室 中嶋宏紀氏

「最近の鮮度保持包装開発事例と海外のトピックス」

講師：(有)テクノワールド社長 井坂勤氏

◆見学会&セミナーの開催

◇夏期見学会&セミナー 7月30日

①見学会 アサヒビール(株)吹田工場

②セミナー「ビールの常温充填」

講師：吹田工場パッケージング部 大嶽勇氏



アサヒビール(株)吹田工場にて

◇秋期見学会&セミナー 11月20日

- ①見学会 (株)メイワパックス兵庫工場
- ②セミナー「2013年食品企画開発トレンド」
講師：凸版印刷(株)
関西TIC本部マーケティング部
上森功規氏



(株)メイワパックス兵庫工場にて

◆第48期包装管理士講座合格証授与式に協賛

◇10月25日 IPP関西支部副賞授与



銅賞&KPI受賞者



桃川支部長と48期生

中部支部だより ●●●

新包装管理士誕生を祝し、新旧交流の「第48期包装管理士歓迎懇親会」開催

中部支部長 岡部 智 (27期)

第48期包装管理士歓迎懇親会の開催

平成25年10月18日(金) 16:00よりメルパルク名古屋「羽衣の間」でJPI中部支部の第48期包装管理士合格証書授与式を開催。今期の受講者は輸送包装45名、生活者包装26名の合計71名。合格者は前期受講者を含め72名。この後、包装管理士歓迎講演会を開催した。講演内容は「伝える力」を身につける～コミュニケーションのコツとワザ～で、株式会社電通の特任顧問白土謙二氏にお願いした。引き続き開催された懇親会では、48期包装管理士とIPP中部支部会員、来賓の方々を合わせて106名が一同に会した。岡部支部長のあいさつ、来賓のあいち産業科学技術総合センター産業技術センター長高須恭夫様の祝辞に続いて、JPI越野常務理事の乾杯の後、新旧包装管理士が和気あいあいの中で交流懇親会が進み、大変楽しい歓迎懇親会となった。

第53回包装技術研究大会中部大会

平成26年2月20日(木)、愛知県産業労働センター(ウインクあいち)9階902会議室で開催予定。この大会は今期で53年目を迎えるJPI中部支部の伝統ある研究大会である。とくに、包装管理士講座における優秀論文の発表の場として発展してきた経緯がある。今期中部大会も第48期包装管理士による包装論文主体の発表を予定している。



第48期包装管理士合格証書授与式



第48期包装管理士歓迎懇親会

西日本支部だより ●●●

西日本支部 副支部長 中村 格勇 (26期)

A) 第48期包装管理士合格証書授与式・包装論文発表会

(1) 第48期包装管理士合格証書授与式が、平成25年11月1日(金)に日本通運(株)福岡支店において開催されました。JPIの園山次長より、ご挨拶と合格証書授与が行われ、IPP西日本支部の宮崎支部長が挨拶されました。

新しい仲間の誕生を祝うと同時に、今後の活躍が期待されます。

(2) 包装論文発表会

①凸版印刷(株) 松尾光泰氏

GLフィルムと印刷技術を活用したスマートパッケージ推進

②日立オートモティブシステムズ(株) 大江伸治氏

海外向け段ボール包装製品の荷姿改善

③YKKAP(株) 村田祐輔氏

住宅サッシ障子KDユニット包装改善

④レンゴー(株) 澤田宗利氏

鍋つゆ750g×12入り段ボールの包装改善

⑤丸東産業(株) 山内好史氏

食品包装からの提案→医薬品包装の改善事例

*総括：お客様の要望と材質変更・形状変更による評価UP、故障が人命に影響を及ぼす一輸送中の保護、メーカーに徹する姿勢、そして社外秘のデータ等の取り扱いと説明に苦勞された、それぞれ自信に満ちた発表でした。

その発表の経験は、それぞれの会社、発表者自身の成長に繋がると確信します。



第48期包装管理士合格証書授与式



包装論文発表会



そろって記念撮影

B) 懇親交流会

場所をかえて、中州川端のIPシティ福岡にて行った、互いの喜びの中での交流会は盛況でした。それぞれ中州の夜を満喫されたようです。

*業界・会社・年齢の壁を越えた異業種交流の場での、互いの成長を望むものです。

今年の言葉は【輪】→2020年のオリンピック東京開催と“人脈の輪”



懇親交流会

関東支部だより ●●●

好評な「スキルアップセミナー」 第4回・第5回を開催

関東支部 副支部長・前川喜知也 (28期) 道明 誠 (23期)

回を追うごとに参加者が増えている「スキルアップセミナー」は、第4回・第5回を(株)文昌堂10F貸会議室において開催しました。

「第4回スキルアップセミナー」は、2013年9月20日に開催、22名が参加しました。テーマは「紙素材の特性・特徴と今後果たすべき役割」で、日本製紙株式会社 研究開発本部 総合研究所 野田貴治氏にご登壇いただきました。セミナー内容は、紙の製



第4回スキルアップセミナー・野田講師

造方法から始まり、パッケージにおける紙素材の位置づけ、最後に紙素材の高機能化の開発事例の紹介がありました。新素材の高機能商品は、基材にバリア性を有しバリア材に金属を使用せず、紙ベースで水系塗工技術を利用する組み合わせの新技术の紹介でした。

「第5回スキルアップセミナー」は2013年11月13日に開催、包装管理士講座48期卒業生 8名を含む参加者は34名となり、募集定員を上回る好評なセミナーとなりました。テーマは、「プラスチック」。ユニチカ㈱の角川仁人氏にご登壇いただきました。セミナー内容は、プラスチックフィルムの特性や特徴、フィルムの製造方法、バイオプラスチック（生分解プラスチック、バイオマスプラスチック）の情報をやさ

しく解説していただき、参加者は熱心にメモをとっていました。



第5回スキルアップセミナー・角川講師

「IPP地域研究会」を開催

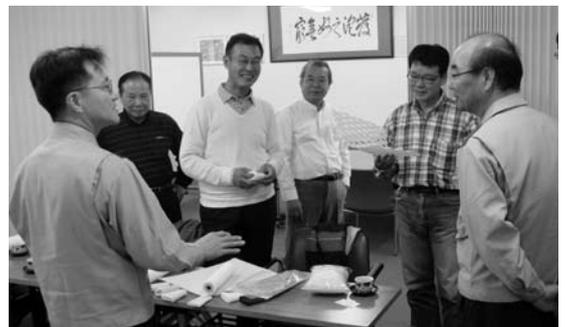
関東支部副支部長 古平 篤 (25期)

関東支部の地域研究会が2013年11月8日（金）～11月9日（土）に行われました。今回は1泊2日、長野県で開催され、関東支部からは10名が参加しました。

11月8日に9名が池袋に集合し、高速バスとジャンボタクシーを乗り継いで、DMノバフォームに向かいました。DMノバフォームで1名合流し、10名で、DMノバフォームの工場見学及び社員との情報交換を行いました。DMノバフォームは、発泡緩衝材を製造しているメーカーであり、果物の緩衝材、パイプの断熱カバー、バラ緩衝材等を製造しているメーカーです。

その後、ジャンボタクシーで、JA須高高山村 選果場に移動しました。いろいろな種類のりんごと選別する装置、りんごを入れる緩衝材、カラフルなダンボールを見る事ができました。りんごの試食や販売も行っており、大勢の方が買い求めていました。その後、近くにある湯田中温泉のホテル・星川館に移動し、宿泊と情報交換会を行いました。

翌日は長野電鉄で長野の古刹として有名な善光寺まで移動し、各自自由行動後、土産と昼食を取り、高速バスを使用して新宿まで戻り解散しました。



DMノバフォームにて



JA須高高山村 りんごの選果場にて

「マレーシア・クアラルンプール視察報告会」を開催

道明 誠 (23期)

平成25年8月27日18:30から、(株)文昌堂10F貸会議室において、マレーシア・クアラルンプール視察報告会を開催し、17名の会員が参加しました。海外視察に行った3名の会員から、クアラルンプールで開催された3つの展示会 (M'SIAPLAS, M'SIAPACK, M'SIA-FOODPRO) の報告と、現地企業の工場見学、スーパーマーケットの市場調査、現地企業責任者との情報交換など、生き生きとしたマレーシア・クアラルンプール情報を報告し、参加者からは活発な意見・質問が出され有意義な報告会でした。



「マレーシア視察報告会」の講師

第48期包装管理士合格証書授与式（東京会場）

関東支部 事務局

平成25年10月25日（金）、秋葉原UDXにおいて第48期包装管理士 東京会場合格証書授与式が行われました。東京会場では、198名の方が合格、新包装管理士が誕生しました。授与式では、公益社団法人日本包装技術協会 古屋専務理事から代表者に合格証書が手渡されました。優秀合格者表彰の後、日本包装技術協会 古屋 一専務理事の主催者挨拶、日本包装管理士会井上伸也会長の来賓祝辞があり、山田孝志関東支部長による乾杯の音頭によって懇親会が始まりました。新包装管理士に包装管理士会理事のメンバーが加わり、なごやかなひと時を過ごしました。



合格証書授与式

「IPP写真研究会活動報告」

IPP写真研究会 古平 篤（25期）

IPP写真研究会の第10回楽しい写真展が2013年9月5日～10日まで、神奈川県・横浜市山手にある山手234番館の2階で開催されました。今回は出品者が13名で、39の作品を展示しました。作品レベルは10回を迎えて格段と良い作品が展示され、587名の多数の方にご来場いただきました。

続いて、2013年11月2日、東京・世田谷区にある等々力溪谷で撮影会を開催しました。東急大井町線の等々力駅に午後2時半に集合し、駅の近くにある等々力溪谷で撮影会を行いました。東京とは思えないような、自然が豊かな所で、神社、滝、日本庭園、古墳等もありました。その後、等々力溪谷近くにある中華レストラン「ざいもく屋」で情報交換会を行い、午後6時半に終了しました。

2013年11月30日は、東京・新宿にあるギャルソンパブで忘年会を行いました。ニューハーフショーを見ながらの楽しい忘年会でした。

また、第10回写真展の中から1人1枚選んだベストワン写真展が12月18日（水）～1月16日（木）までJPI本部のロビーで開催されました。

今後の予定は2月8日アサビール本部ビルのゲストルームでIPP写真研究会20周年（楽しい写真展10周年）記念新年会が行われます。



写真研究会の忘年会

「平成25年度IPP忘年会」を開催

関東支部副支部長 古平 篤（25期）

本部・関東支部合同の忘年会が12月12日（木）、赤坂の陽光ホテルで行われました。当日は関東支部の会員を中心に、18名の会員が参加しました。

各自の情報交換、関東支部で今年行った行事、来年の計画について熱く語り合い、例年のカラオケをやる間もなく、あっという間に時間が過ぎてしまい、来年の活発な活動を約束して散会しました。



IPP忘年会

日本包装管理士会 創立50周年記念事業

50周年事業検討委員会

日本包装管理士会は、2016年に創立50周年を迎えます。当会では、50周年事業検討委員会を組織し、記念事業の検討を進めています。

2016年6月・第50回定時総会の日に記念式典を行うことを決定し、50周年事業検討委員会の下に4つの分科会を設けて準備をスタートしました。各委員会と委員長は、次の通りです。

- ・50周年事業検討委員会（総括委員会）
委員長：山田孝志（本部・関東支部・35期）
- ・記念誌委員会
委員長：佐々木重博（本部・東北支部・22期）
- ・記念セミナー委員会

- 委員長：道明誠（関東支部・23期）
- ・キャラクター委員会
委員長：古平篤（本部・関東支部・25期）
- ・パーティー委員会
委員長：大野豊（本部・関東支部・38期）

会員の皆様には、今後、情報提供等、ご協力をよろしくお祈いします

- 活動の一環として、創立50周年記念のキャラクターを会員の皆様から募集することになりました。下記の募集要項に沿って、積極的なご応募をお願いします。

日本包装管理士会 創立50周年記念

キャラクター募集

日本包装管理士会 創立50周年記念事業の一環として、日本包装管理士会にふさわしい、キャラクターとそのネーミングを創作し、活用することとしました。

第1ステップとして、キャラクターのデザインを広く会員の皆様から募集します。下記の要項に沿って、ご応募下さいますようお願いいたします。

皆様からの多数のご応募をお待ちしています。

なお、ネーミングについては、キャラクターデザイン決定後に募集します。

- 設定の目的：IPPの50周年を記念して1年前の2015年6月までに設定し、名刺・案内状・ippニュース・ホームページ等に1年間使用する。

- コンセプト：包装技術をイメージでき、一般消費者に親しみを持ってもらえる楽しいキャラクター

〈募集要項〉

- (1) 応募はキャラクターデザインとする。
- (2) デザインの精度アップは、事務局で行うので仕上がり精度は要求しません。
- (3) デザインの応募はA4サイズの用紙、または電子データで応募してください。
- (4) 会員番号・氏名・住所・連絡先を明記の上、応募してください。

〈賞金〉 採用賞金：2万円

- 応募締切：2014年5月12日（月） 事務局必着

〈その他〉

- (1) 著作権：IPPに帰属することを応募条件とします。
- (2) 審査：一般会員により投票していただき、3点に絞った後に、会長・副会長・支部長・本部理事・50周年委員により、最終審査を行います。
- (3) 応募者全員に図書券（500円分）を進呈します。

●応募先：日本包装管理士会 本部事務局

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F 日本包装技術協会内

TEL：03-3543-9250 FAX：03-3543-8970

E-mail：ipp@pk9.so-net.ne.jp

● 編集後記 ●

ippニュース116号が仕上がりました。支部活動が活発になり、支部だよりのページが充実してきたことは大変喜ばしいことです。ippニュース編集委員からはニュースのページ数が足りないとの悩みも出ていますが、日常活動が活発に推進されていることは、支部長はじめ支部役員の方々の努力のたまものと感謝しております。

IPPは2016年に設立50周年となりますが、記念事業の検討に活動の記録としてのippニュースが大変役立っています。IPPでは包装に関する優秀文献の選定・表彰や毎年の包装界10大ニュースの選定・発表などで激動の日本経済、包装界の50年に主役として生きた包装人の記録のお手伝いをしてきましたが、ippニュース以外の記録（記事や写真）が少なく振り返りに苦労しています。会員

の皆様のご協力をお願いいたします。特にIPP設立初期の会員の方、お手元に活動の資料や写真などがありましたら事務局までお知らせください。記念事業などに使わせていただきたいと考えております。

116号が発行される時期は包装管理士講座第48期修了者の皆様にIPPへの入会をお勧めしている頃です。48期は包装管理士として407名の方が資格認定を受けられました。一人でも多くの方にIPPへ入会していただき、2016年の設立50周年と一緒に迎えていただきたいと熱望しています。活動への感想やご意見なども事務局へご連絡ください。

井上 伸也 (5期)

日本包装管理士会 / Institute of Packaging Professionals, Japan

e-mail: ipp@pk9.so-net.ne.jp
http://www.ippj.net/

■本部	〒104-0045	東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F 日本包装技術協会内	☎ : 03-3543-9250 fax : 03-3543-8970
■北海道支部	〒060-0004	札幌市中央区北一条西2丁目 北海道経済センタービル 北海道生産性本部内	☎ : 011-241-8591 fax : 011-241-3898
■東北支部	〒021-0893	岩手県一関市地主町3-35 株式会社 東北ウエノ内	☎ : 0191-21-4531 fax : 0191-21-5381
■関東支部	〒104-0045	東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F 日本包装技術協会内	☎ : 03-3543-9250 fax : 03-3543-8970
■中部支部	〒450-0003	名古屋市中村区名駅南4-1-2-17 日通ビル2F 日本包装技術協会内	☎ : 052-563-7110 fax : 052-563-7123
■関西支部	〒530-6691	大阪市北区中之島6丁目2-27 中之島センタービル28F 日本包装技術協会内	☎ : 06-6444-6479 fax : 06-6444-6450
■西日本支部	〒800-0233	福岡県北九州市小倉南区朽網西1丁目6番3号 ワイルド化成株式会社内	☎ : 093-474-1211 fax : 093-474-1113

----- Copy & FAX 用切取線 -----

日本包装管理士会会員登録データ変更届

■宛先 日本包装管理士会事務局 fax : 03-3543-8970 ☎ : 03-3543-9250

フリガナ						
氏名	会員番号	番	平成	年	月	日届
会社	社名					
	所属					
	住所 〒					
	TEL					FAX
	E-mail					
自宅	住所 〒					
	TEL					FAX
	E-mail					